

引戸門柱TSA・TSBA・TSC

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

■施工上のご注意

- 商品の施工については必ず取付説明書に従ってください。
また、施工完了後に取付説明書を施主様にお渡しください。
- 扉走行床面は、水平に仕上げてください。
- 電装商品の場合は配線工事を有資格者の専門業者にご依頼ください。
- 施工完了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
- 施工時には、水糸等を用いて柱とレールの位置を決めてください。

■使用上のご注意

- 製品の破損などにより身体に損傷等のおそれがありますので、以下の使い方を守ってください。
- 通常使用されない場合は必ず施錠してください。また、落し棒の付いている商品は落し棒も同時に降ろしてください。
- 開閉時には手足・衣服等を挟まないよう、注意してください。
また、人・物等の障害物がない事を確認してください。
- 扉に物を載せないでください。
- 扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。

■梱包明細書

Aタイプ

①柱セット〔TSA-12,14〕

名 称		員 数
	ガイド柱	1
	戸当り柱	1
	戸当り	1
部 品	ガイド柱レール固定板	1
	戸当り柱レール固定板	1
	レールジョイント	1
	戸車ストッパー	1
	引戸ストッパー	1
	合掌框下キャップ	1
	吊元框下キャップ	1
	合掌框下キャップ取付ネジ φ4×10ナベ2種	2
	吊元框下キャップ取付ネジ φ4×10 WH2種	2
	取付説明書〈D320〉	1
箱	取扱説明書〈UD015〉	1
	レール固定板取付ネジ φ4×10トラス1種	3
	戸当り取付ネジ φ4×10トラス3種	4
	引戸ストッパー取付ネジ M4×10トラス小ネジ	2

②引戸

名 称	員 数
引戸本体	1

③部品A

名 称	員 数
片錠セット	1
鍵	3
取付説明書〈D275〉	1

④レールセット

名 称	員 数
レール	1

Bタイプ

①柱セット〔TSBA-12,14〕

名 称		員 数
	ガイド柱	1
	吊元柱	1
部 品	ガイド柱レール固定板	1
	レールジョイント	1
	戸車ストッパー	2
	引戸ストッパー	1
	調整金具セット	1
	落し錠	2
	落し錠受け	3
箱	合掌框下キャップ	2
	吊元框下キャップ	2

①つづき

名 称		員 数
部 品	合掌框下キャップ取付ネジ φ4×10ナベ2種	4
	吊元框下キャップ取付ネジ φ4×10 WH2種	4
	取付説明書〈D320〉	1
	取扱説明書〈UD015〉	1
	レール固定板取付ネジ φ4×10トラス1種	1
箱	引戸ストッパー取付ネジ M4×10トラス小ネジ	2
	全面戸当り取付ネジ φ4×10トラス3種	4
	落し錠取付ネジ φ4×8ナベPタイト	4

②引戸

名 称	員 数
引戸本体	1

③開戸

名 称	員 数
開戸本体 (07-12,08-14)	1

④部品B

名 称	員 数
両錠セット	1
鍵	3
取付説明書〈D319〉	1

⑤レールセット

名 称	員 数
レール	1

⑥戸当りセット

名 称	員 数
全面戸当りセット	1

Cタイプ

①柱セット〔TSC-12,14〕

名 称		員 数
	ガイド柱	2
部 品	ガイド柱レール固定板	2
	レールジョイント	2
	戸車ストッパー	4
	引戸ストッパー	2
	落し錠	1
	落し錠受け	1
	戸当り	2
箱	脱輪防止金具	2
	合掌框下キャップ	2
	吊元框下キャップ	2
	合掌框下キャップ取付ネジ φ4×10ナベ2種	4
	吊元框下キャップ取付ネジ φ4×10 WH2種	4

■梱包明細書(つづき)

1 つづき

部	名 称	員 数
品	取付説明書 (D320)	1
	取扱説明書 (UD015)	1
	レール固定板取付ネジ φ4×10トラス1種	2
	戸当り取付ネジ φ4×10トラス3種	4
	引戸ストッパー取付ネジ M4×10トラス小ネジ	4
箱	落し錠取付ネジ φ4×8ナベPタイト	2

2 引戸

名 称	員 数
引戸本体	1

3 部品 C

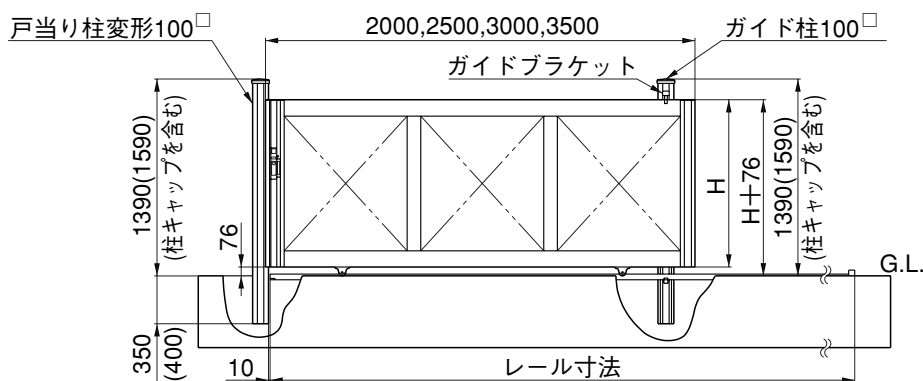
名 称	員 数
両錠セット	1
鍵	3
取付説明書 (D209)	1

4 レールセット

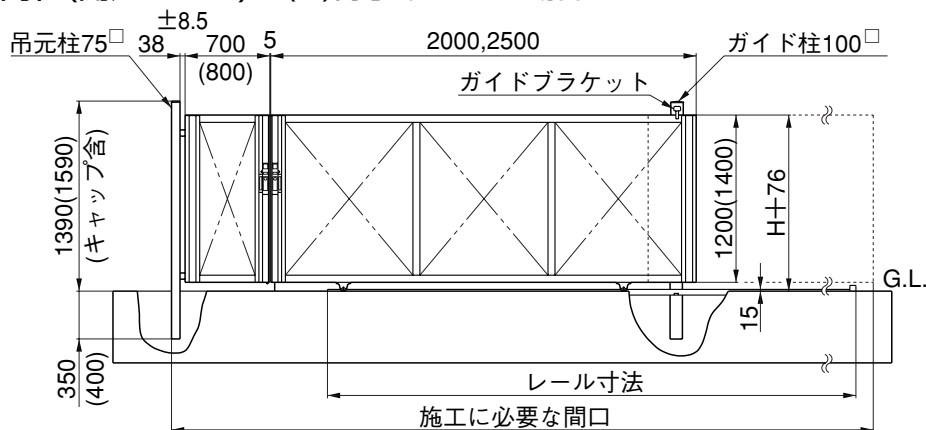
名 称	員 数
レール	1

1.各部の名称および施工寸法

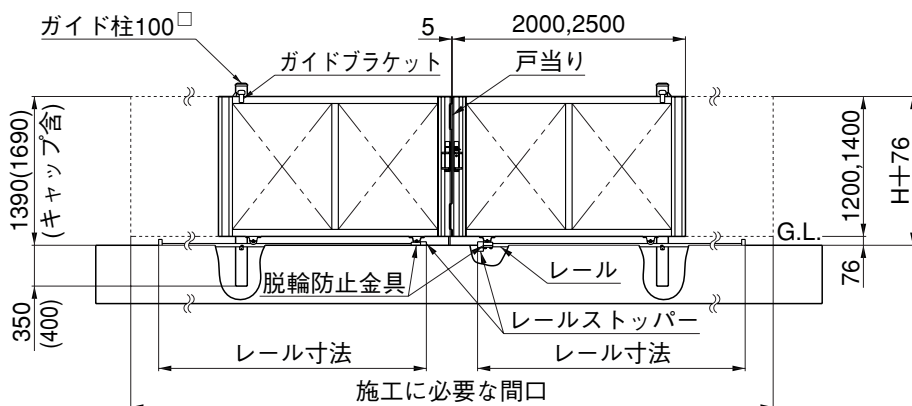
1-1 TSA門柱(片引きタイプ)※()内寸法はH14の場合です。



1-2 TSBA門柱(開戸タイプ)※()内寸法はH14の場合です。

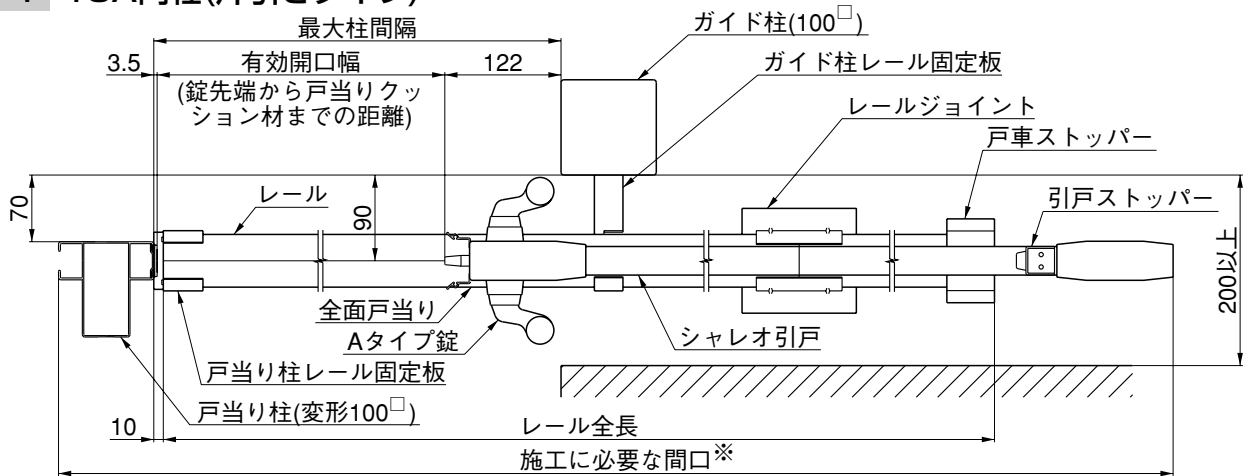


1-3 TSC門柱(両引きタイプ)※()内寸法はH14の場合です。



2. レール組付け図

2-1 TSA門柱(片引きタイプ)



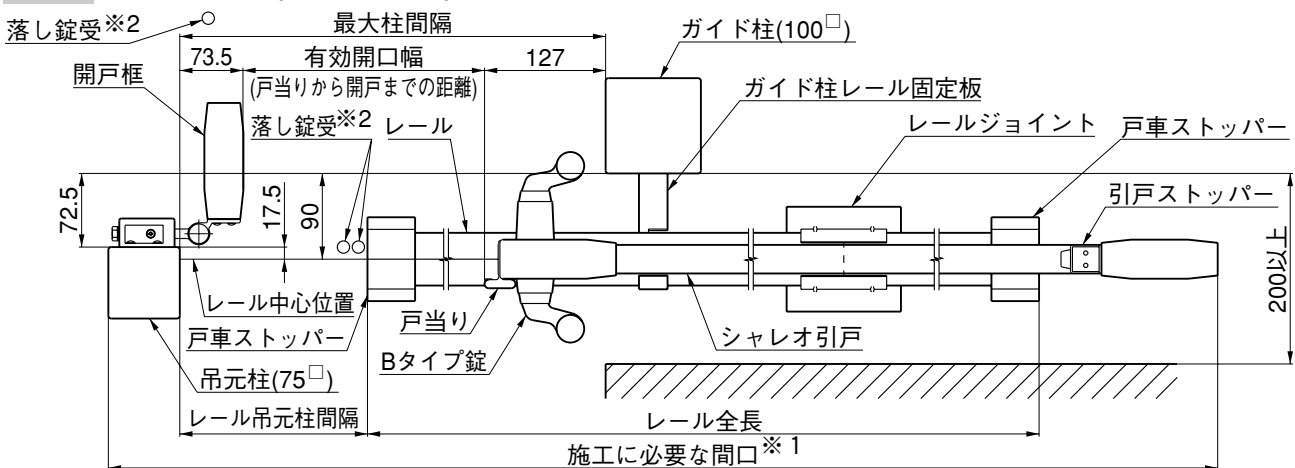
※全面戸当りは引戸を閉めた際、戸当り柱と引戸全体で働きます。

施工寸法表

W	施工に必要な間口	有効開口幅	最大柱間隔	レール全長
2000	3,733	1,602	1,727	3,403
2500	4,733	2,102	2,227	4,303
3000	5,733	2,602	2,727	5,203
3500	6,733	3,102	3,227	6,103

※施工に必要な間口…引戸本体を全開にし、引戸の後車輪が、レールの戸車ストッパーに当たったときの戸当り柱の外面から、引戸の後端までの距離。

2-2 TSBA門柱(開戸タイプ)



施工寸法表 (W07開戸の場合)

H	W	施工に必要な間口	有効開口幅	最大柱間隔	必要レール長さ	レール吊元柱間隔
12	2000(2000+700)	4,460	2,294.5	2,495	3,205	961
	2500(2500+700)	5,460	2,794.5	2,995	4,005	1,061

施工寸法表 (W08開戸の場合)

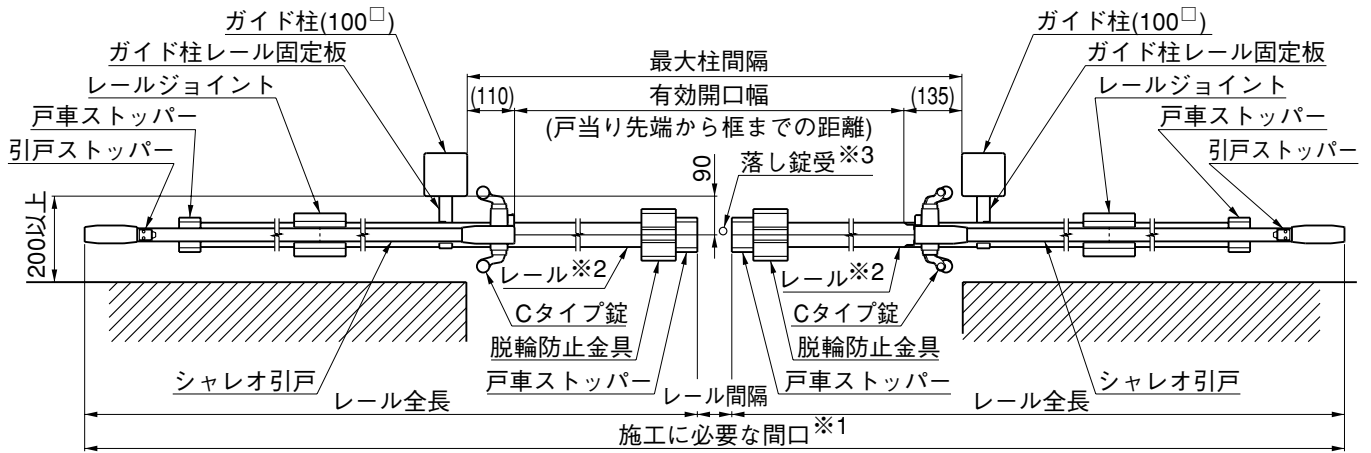
H	W	施工に必要な間口	有効開口幅	最大柱間隔	必要レール長さ	レール吊元柱間隔
14	2000(2000+800)	4,560	2,394.5	2,595	3,205	1,061
	2500(2500+800)	5,560	2,894.5	3,095	4,005	1,161

※1 施工に必要な間口…引戸本体を全開にし、引戸の後車輪が、レールの戸車ストッパーに当たったときの戸当り柱の外面から、引戸の後端までの距離。

※2 落とし錠受………落とし錠が引戸・開き戸両方につきます。落とし錠受は現場に合わせてかならず開き戸×2、引戸×1で施工してください。

2. つづき

2-3 TSC門柱(両開きタイプ)



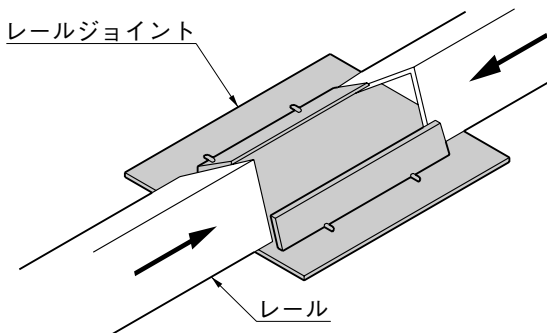
施工寸法表

W	施工に必要な間口	有効開口幅	最大柱間隔	必要レール長さ	レール間隔
2000-2000	7,290	3,265	3,510	3,205×2	440
2500-2500	9,290	4,265	4,510	4,005×2	640

- ※1 施工に必要な間口…引戸本体を全開にし、引戸の後車輪が、レールの戸車ストッパーに当たったときの戸当り柱の外面から、引戸の後端までの距離。
- ※2 レール……………レールの不必要な部分は切断してください。
- ※3 落下錠受……………2枚の引戸の内、受け側引戸に落下錠が付きまます。落下錠受は、受け側に合わせて施工してください。

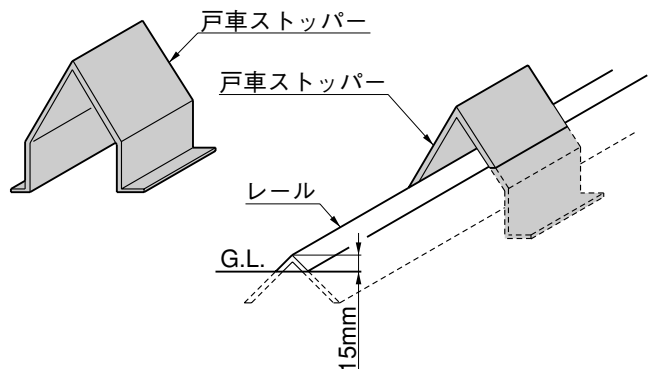
3. レールの取付け

3-1 レールジョイントの組付け



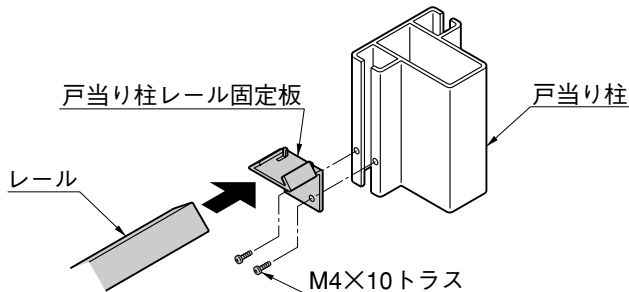
- ① 上図のようにレールをレールジョイントに差込みます。

3-2 戸車ストッパーの組付け



- ① 必要以外のレール切断します。
- ② 戸車ストッパーはレールの両端部に取付けます。
- <注意>
- レールはG.L.より15mm出るようにしてください。

3-3 戸当り柱レール固定板の取付け(TSA門柱)



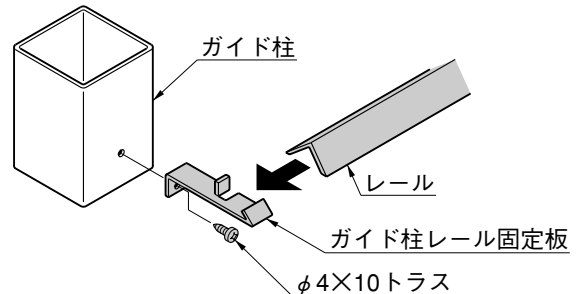
① 戸当り柱レール固定板をM4×10トラスで戸当り柱に取付けます。

② 戸当り柱レール固定板にレールを差込みます。

<注意>

- 戸当り柱レール固定板は戸当り柱の下側へ取付けてください。
- T S B A (開戸)・T S C (両開き)門柱には、戸当り柱レール固定板は取付きません。

3-4 ガイド柱レール固定板の取付け



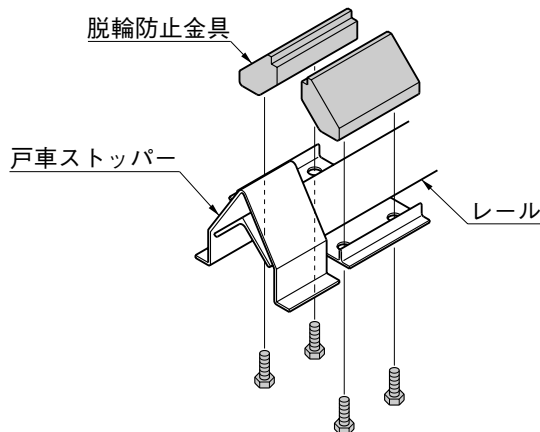
① ガイド柱レール固定板をφ4×10トラスでガイド柱に取付けます。

② ガイド柱レール固定板にレールを差込みます。

<注意>

- ガイド柱レール固定板はガイド柱の下側へ取付けてください。

3-5 脱輪防止金具の取付け(TSC門柱)

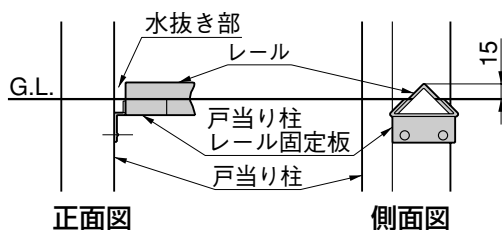


① 引戸のめし合わせ部の戸車ストッパー部分となり合うようにレール施工時に取付けます。

<注意>

脱輪防止金具は、強風時に引戸の脱輪を防ぐものです。必ず、施錠時に引戸の戸車が脱輪防止金具に納まるように施工してください。

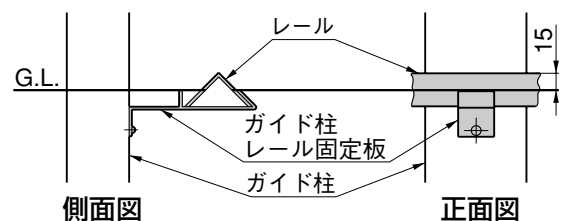
3-6 戸当り柱納り図(TSA門柱)



<注意>

- レール固定板が隠れる程度に仕上げてください。
- レールはG.L.より15mm出るようにしてください。

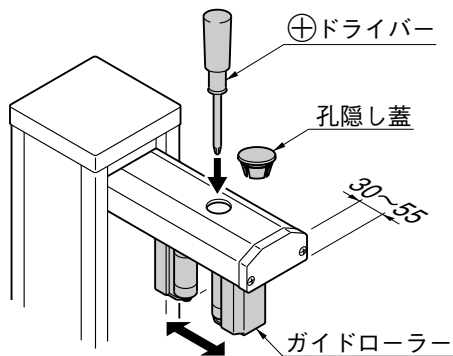
3-7 ガイド柱納り図



<注意>

- レール固定板が隠れる程度に仕上げてください。
- レールはG.L.より15mm出るようにしてください。

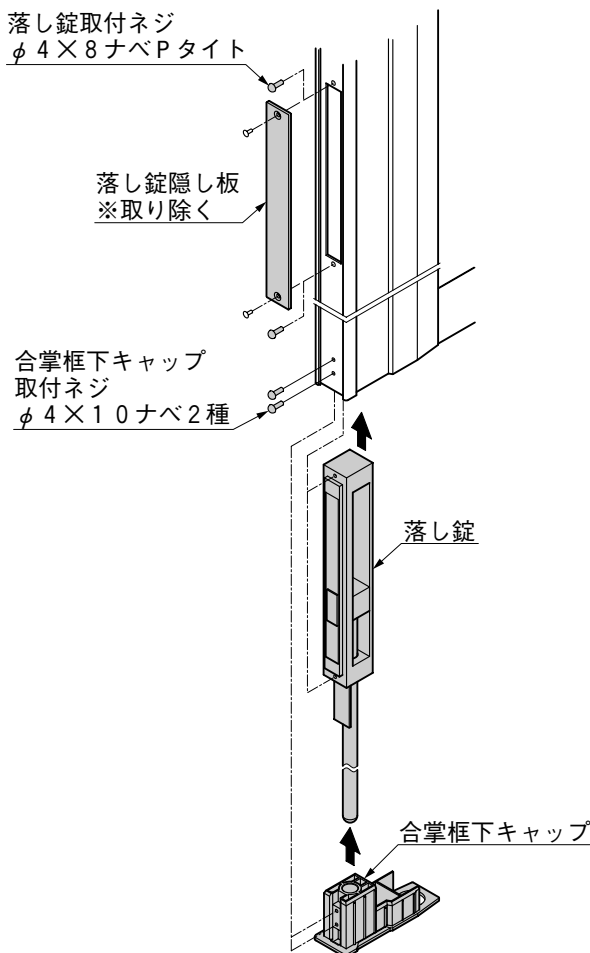
4. ガイドローラーの調整



- ① ブラケットの孔隠し蓋をはずして⊕ドライバーで内部のネジをゆるめることによって、ガイドローラーの幅調整ができます。調整後は、ネジを締めてください。

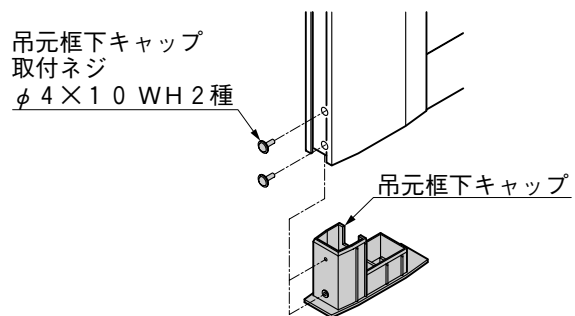
5. 落とし錠、框下キャップの取付け ※TSA門柱(引戸)に落とし錠はありません。

5-1 落とし錠の取付け ※TSBA,TSC門柱



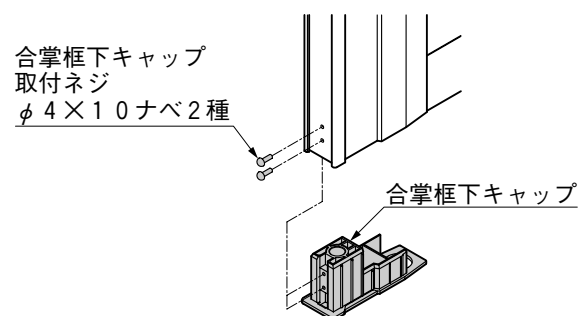
- ① 引戸・開き戸の框についている落とし錠隠し板をはずします。
- ② 落とし錠を框に入れφ4×8ナベPタイトで固定します。
- ③ 框の孔隠しシールをはずし、合掌框下キャップをφ4×10ナベ2種で取付けます。

5-2 吊元框下キャップの取付け



- ① 吊元框のプッシュボタンをはずし、吊元框下キャップをφ4×10WH(ワッシャーヘッド)2種で取付けます。

5-3 合掌框下キャップの取付け



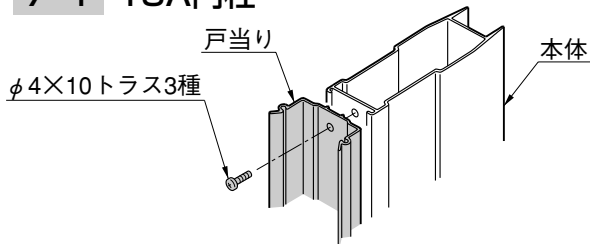
- ① 合掌框の孔隠しシールをはずし、合掌框下キャップをφ4×10ナベ2種で取付けます。

6. 錠セットの取付け

※錠セットの組付けは、部品セットの取付説明書をご参照ください。

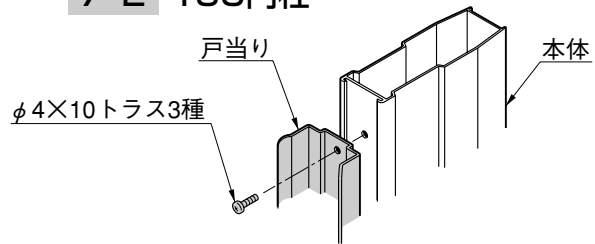
7.戸当りの取付け

7-1 TSA門柱



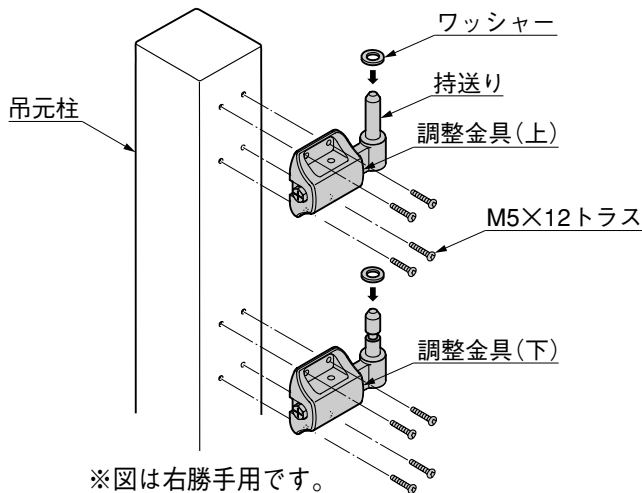
- ① 框についている落し錠隠し板をはずします。
- ② 戸当りをφ4×10トラス3種で引戸本体に取付けます。

7-2 TSC門柱



- ① 戸当りをφ4×10トラス3種で引戸本体に取付けます。
戸当りは2個ありますので、上下かならず取付けてください。

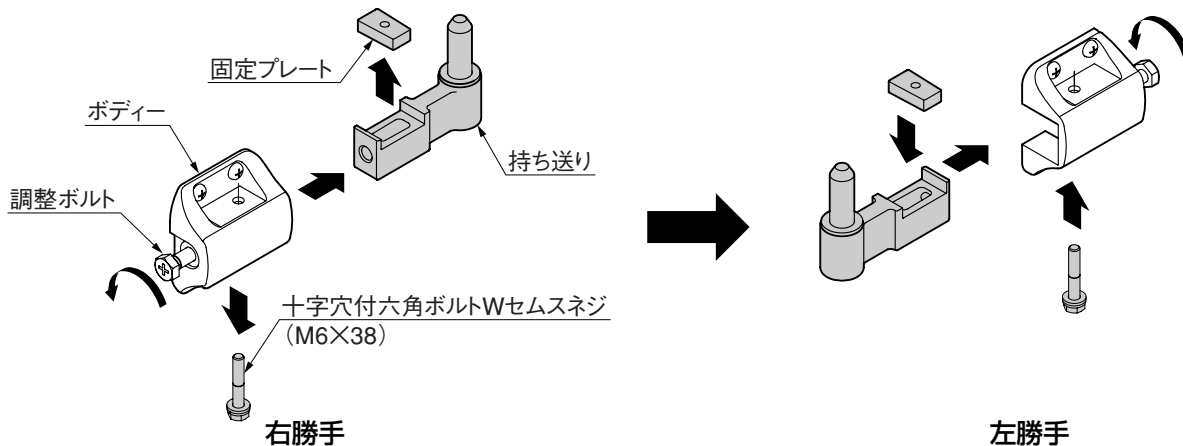
8.調整金具の取付け



- ① 持送りの凸部にワッシャーを差し込みます。
 - ② 調整金具(上)(下)をM5×12トラスで吊元柱に取付けます。
- <注意>
- 調整金具には右勝手用と左勝手用がありますので、取付け時にご注意ください。
 - T S A (片引き)・T S C (両開き)門柱の場合には、調整金具は取付きません。

9.調整金具の組替え方法

9-1 片開き、左勝手の組替え



- ① 「十字穴付六角ボルトWセムスネジ」を外してください。
- ② 調整ボルトをゆるめて持ち送りと固定プレートを外してください。
- ③ ボディーの向きを変え、持ち送りに固定プレートを乗せてボディーに挿入してください。
- ④ 調整ボルトを締めてください。
- ⑤ 「十字穴付六角ボルトWセムスネジ」を締め、持ち送りを固定してください。

10.調整方法

① 固定ボルトをゆるめてください。

<注意>

- 固定ボルトを締めたまま間口寸法の調整を行なうと調整機能が破損します。
- 必ず市販の呼び10スパナを使用してください。(※1)

② 調整ボルトをまわし、間口寸法を決めてください。

<注意>

- 両開きの場合、合掌框と合掌框のチリ寸法は $5\pm 1\text{mm}$ に調整してください。
- 片開きの場合、合掌框と受け門柱のチリ寸法も $5\pm 1\text{mm}$ に調整してください。

③ 内外寸法を決めたあと、固定ボルトをスパナで締付けてください。

<注意>

- 必ず市販の呼び10スパナを使用してください。(※1)

調整範囲

11.引戸ストッパーの取付け

M4×10トラス 引戸ストッパー

吊元柱 ガイド柱 B部

引戸

※図はTSBA門柱です。

A図 B部詳細図

① 左図のように引戸のガイド柱側にM4×10トラスで引戸ストッパーを取付けます。(A図参照)

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

取説コード

D320

KMR574246D
200209A_1001
200802E_1001